

白川橋左岸緑地トイレ

SHIRAKAWA BRIDGE LEFT BANK
PUBLIC RESTROOM



くまもとアートポリス
kumamoto artpolis

熊本県

くまもとアートポリス事務局

熊本県土木部建築住宅局建築課

〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1

☎ 096-333-2537



白川橋左岸緑地トイレ

●建築概要

熊本駅からわずか数分の白川の河川敷に立つ、小さなランドマークである。およそ11㎡の建築ではあるが、駅周辺の建築群との連続性に加え、白川橋上に設置された、藤江和子氏による1992年度のアートポリス作品「フライングライト」との呼応関係も必要である。雄大な川の風景のなかで、橋を渡る人がちょっと楽しく嬉しくなるような、チャーミングな建築にしたいと考えた。

铸铁による樹状ユニットは、治水上の理由で樹木が少なく、ハードエッジな土木構築物が支配的な河川敷において、トイレに明快な輪郭を持たせないことで、風景の緊張をやわらかくできるのでは、というアイデアから生まれている。この樹状ユニットが、3つのトイレの大きさに合わせて円弧状に広がり、また川に向かってやさしく傾くように、その配置を細かく設計した。子供たちが遊ぶ白川の河川敷を見下ろす、小さなまちづくりの拠点になってほしいと願っている。

●建築家プロフィール

太田 浩史 (おおた ひろし)



- 1968年 東京都生まれ
- 1991年 東京大学工学部建築学科卒業
- 1993年 東京大学大学院研究科建築学専攻修士課程修了
- 1993年 東京大学キャンパス計画室助手(～98)
- 2000年 椋原徹とデザインヌーブ共同設立
- 2002年～ 東京ピクニッククラブ共同主宰
- 2003年～ 東京大学国際都市再生研究センター特任研究員(～08)
- 2009年～ 東京大学生産技術研究所講師

●主な作品

久が原のゲストハウス、DUET、ピクノポリス、PopulouSCAPE

●建築データ

名称 / 白川橋左岸緑地トイレ
 所在地 / 熊本県熊本市本山3丁目
 主要用途 / 公衆トイレ
 事業主体 / 熊本市
 設計者 / 太田浩史 / デザインヌーブ
 施工者 / 株式会社富田建設
 面積
 敷地 / 36,415.07㎡
 建築 / 11.59㎡
 床 / 11.59㎡
 階数 / 地上1階
 高さ / 2,700mm
 構造 / 鉄骨造
 外部仕上
 屋根 / ガルバニウム鋼板
 外壁 / 金属サンドイッチパネル
 施工期間 / 2010年12月～2011年3月
 事業費 / 13百万円

